



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月26日

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント 上場取引所 東
 コード番号 4733 URL https://www.obc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 成史
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 和田 弘子 TEL 03-3342-1881
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年11月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,780	△12.0	5,597	△21.0	6,161	△18.8	4,262	△20.3
2020年3月期第2四半期	15,654	20.3	7,085	34.4	7,591	32.0	5,349	8.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	56.71	—
2020年3月期第2四半期	71.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	145,555	122,200	84.0
2020年3月期	143,129	118,525	82.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 122,200百万円 2020年3月期 118,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	1.4	12,700	△2.2	13,500	△3.8	9,160	△8.0	121.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	80,704,000株	2020年3月期	80,704,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	5,536,074株	2020年3月期	5,537,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	75,166,639株	2020年3月期2Q	75,164,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足説明	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、また、世界的な感染再拡大の懸念も払拭できず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。企業活動においては、業績見込み等に対し慎重な見方となり、投資計画の見直しや抑制を行うなど大きな影響が出ております。

当社の属する情報サービス産業においては、緊急事態宣言解除後は、テレワークやリモート会議等に対するシステム需要が一巡したものの、これらの施策が企業活動に浸透してきたことにより、引き続き提供するシステムやサービスに安全面や機能の充実、より高い操作性が求められております。

このような状況の中、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、企業環境の変化をとらえ、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えたシステム開発やサービス提供に努めてまいりました。

営業活動は、お客様・社員の安全確保のため、一部テレワークや時差通勤などの施策を維持し、リモートによる商談、webでの操作指導を併用しながら推進してまいりました。イベントの告知や新規商談等の申込を当社ホームページより行える環境を整え、お客様、パートナー様とのコミュニケーションの機会を補完し、「奉行クラウド」を中心とした提案活動を進めてまいりました。

また、テレビCMやインターネットによる広告についても引き続き重点的に実施してまいりました。

このような活動の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は137億80百万円(前年同四半期比12.0%減)、営業利益は55億97百万円(同21.0%減)、経常利益は61億61百万円(同18.8%減)、四半期純利益42億62百万円(同20.3%減)となりました。

売上高が前年同四半期比12.0%、営業利益が同21.0%、経常利益が同18.8%、四半期純利益が同20.3%それぞれ減少した主な要因は、前年は自社製品のサポート終了や消費税制度改正により製品バージョンアップの売上や新規売上が好調であったことの反動によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,167億95百万円となり、前事業年度末に比べ6億43百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が33億51百万円増加、売掛金が23億46百万円減少したことによるものであります。固定資産は287億59百万円となり、前事業年度末に比べ17億82百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が17億63百万円、敷金及び保証金が1億62百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,455億55百万円となり、前事業年度末に比べ24億25百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は176億71百万円となり、前事業年度末に比べ20億42百万円減少いたしました。これは前受収益が17億75百万円、未払法人税等が1億94百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は56億83百万円となり、前事業年度末に比べ7億93百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が5億60百万円、退職給付引当金が2億33百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は233億54百万円となり、前事業年度末に比べ12億48百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,222億円となり、前事業年度末に比べ36億74百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が23億83百万円増加、その他有価証券評価差額金が12億80百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.0%(前事業年度末は82.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,100億41百万円となり、前事業年度末と比較して33億51百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、55億4百万円(前年同期は62億80百万円の収入)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益61億61百万円、売上債権の減少額26億98百万円等であり、主なマイナス要因は、前受収益の減少額17億75百万円、法人税等の支払額20億98百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億72百万円(前年同期は42百万円の支出)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億9百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億63百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、18億80百万円(前年同期は18億78百万円の支出)となりました。要因は、配当金の支払額18億80百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年4月23日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,700,778	110,051,855
受取手形	1,724,108	1,372,810
売掛金	7,356,458	5,009,619
商品及び製品	135,663	148,659
仕掛品	1,168	1,289
原材料及び貯蔵品	71,661	64,336
前払費用	147,926	161,304
未収入金	8,044	8,084
その他	10,643	6,315
貸倒引当金	△3,664	△28,308
流動資産合計	116,152,789	116,795,967
固定資産		
有形固定資産	505,625	444,115
無形固定資産	417,402	335,603
投資その他の資産		
投資有価証券	25,265,079	27,028,285
関係会社株式	9,196	9,196
長期未収入金	61,240	62,160
敷金及び保証金	751,125	913,914
会員権	32,380	32,380
破産更生債権等	4,335	3,291
貸倒引当金	△69,725	△69,601
投資その他の資産合計	26,053,630	27,979,626
固定資産合計	26,976,658	28,759,345
資産合計	143,129,448	145,555,312

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	289,651	214,279
未払金	763,723	655,551
未払費用	934,508	1,120,819
未払法人税等	2,212,835	2,018,626
未払消費税等	434,595	373,334
預り金	89,909	107,387
前受収益	14,909,934	13,134,751
役員賞与引当金	72,000	40,000
その他	6,173	6,374
流動負債合計	19,713,331	17,671,123
固定負債		
繰延税金負債	1,296,917	1,857,072
退職給付引当金	2,493,694	2,726,897
長期未払金	952,172	952,172
資産除去債務	147,563	147,645
固定負債合計	4,890,347	5,683,788
負債合計	24,603,679	23,354,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,957,416	18,966,705
利益剰余金	84,821,015	87,204,564
自己株式	△5,347,640	△5,346,191
株主資本合計	108,949,791	111,344,078
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,575,977	10,856,322
評価・換算差額等合計	9,575,977	10,856,322
純資産合計	118,525,769	122,200,401
負債純資産合計	143,129,448	145,555,312

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	15,654,238	13,780,376
売上原価	2,724,704	2,215,007
売上総利益	12,929,534	11,565,369
販売費及び一般管理費	5,844,479	5,967,470
営業利益	7,085,054	5,597,899
営業外収益		
受取利息	182	227
受取配当金	516,582	537,801
投資有価証券売却益	—	572
その他	13,892	76,549
営業外収益合計	530,656	615,151
営業外費用		
投資有価証券売却損	294	—
投資事業組合運用損	18,043	49,810
その他	5,563	1,334
営業外費用合計	23,902	51,145
経常利益	7,591,809	6,161,905
特別利益		
投資有価証券売却益	141,468	—
特別利益合計	141,468	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益	7,733,277	6,161,905
法人税、住民税及び事業税	2,260,195	1,903,584
法人税等調整額	123,292	△4,377
法人税等合計	2,383,488	1,899,206
四半期純利益	5,349,789	4,262,699

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	7,733,277	6,161,905
減価償却費	280,895	283,556
退職給付引当金の増減額(△は減少)	132,677	233,203
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,000	△32,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,040	24,520
受取利息及び受取配当金	△516,764	△538,028
投資有価証券売却損益(△は益)	△141,173	△572
投資事業組合運用損益(△は益)	18,043	49,810
売上債権の増減額(△は増加)	2,909,651	2,698,136
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,517	△5,791
前払費用の増減額(△は増加)	△2,121	△13,378
仕入債務の増減額(△は減少)	8,130	△75,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	△265,401	△61,261
未払費用の増減額(△は減少)	55,086	186,310
前受収益の増減額(△は減少)	△1,401,366	△1,775,182
その他	△114,119	△70,667
小計	8,637,337	7,065,187
利息及び配当金の受取額	516,764	538,028
法人税等の支払額	△2,873,642	△2,098,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,280,458	5,504,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	175,086	32,435
有形固定資産の取得による支出	△40,374	△32,709
無形固定資産の取得による支出	△113,600	△109,351
敷金及び保証金の差入による支出	△64,675	△163,527
敷金及び保証金の回収による収入	1,265	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,298	△272,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,878,754	△1,880,506
自己株式の取得による支出	—	△482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,878,754	△1,880,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,359,406	3,351,076
現金及び現金同等物の期首残高	97,829,792	106,690,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,189,198	110,041,855

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響に関する開示)

当社は、緊急事態宣言下においては、社員及び顧客の安全確保を優先するため在宅勤務やリモートによる商談、webでの操作指導などを推進し、一定の営業活動を維持してまいりました。中止していた訪問による営業活動、イベント等への出展は徐々に再開する予定であり、2021年3月期の下期以降は、営業活動もほぼ通常通りに遂行できるものと見込んでおります。

当第2四半期累計期間の投資有価証券の評価、貸倒引当金の計上基準、退職給付引当金の計上基準等の重要な会計方針に関する見積りへの影響は僅少だと判断していますが、想定より経済活動への影響が長引く場合には、投資有価証券の評価額の下落や売上債権の回収懸念など当社の経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足説明

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、ソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

四半期販売の状況

(単位：千円・%)

品 目	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	7,054,990	45.1	4,502,541	32.7	△2,552,448	△36.2
ソリューションテクノロジー	5,238,919	33.5	3,199,253	23.2	△2,039,666	△38.9
関連製品	1,816,070	11.6	1,303,288	9.5	△512,782	△28.2
サービス	8,599,247	54.9	9,277,834	67.3	678,587	7.9
合 計	15,654,238	100.0	13,780,376	100.0	△1,873,861	△12.0